



発行責任者 亀岡市立病院広報委員会

〒621-8585

京都府亀岡市篠町篠野田1-1

TEL 0771-25-7313

FAX 0771-25-7312

<https://www.city.kameoka.kyoto.jp/site/hospital/>

## 病院理念

- 急性期医療を中心とした適切かつ良質な医療を提供します。
- 患者さまの権利を尊重し、理解と納得に基づいた患者さま中心の医療を行います。
- 地域医療機関と連携し、地域に求められる救急医療・高度医療に取り組み地域医療の向上に貢献します。
- 公共性と経済性を考慮し、市民の理解と信頼を得られる透明性のある病院運営を行います。

## CONTENTS

ごあいさつ	1
新任医師自己紹介	2.3
職員研修・健康講座ご案内	4.5
職員紹介	
糖尿病と病気の関係	6
地域連携医のご紹介	7
編集後記	
外来担当医表	8



## ごあいさつ

コロナが5類相当に変更され、昨年までの毎日トップニュースがコロナ関連だったことが嘘のようです。

レットルを付け替えただけでこれほどまでに意識が変わるものかと驚いております。

最近では、静かに蔓延しつつあるようですが、やはり重症者は少なく、粛々と必要があれば入院治療を続けております。これまで通り入院時のPCR検査や発熱時の対応なども継続しておりますが、コロナに関連した従来の補助金は一部の重症者を診る大病院を除き、9月で終了となり、以前より経営が苦しい中小の公的病院は今後次々と淘汰されていくことでしょう。

この時代に病院を持続可能とするためには急性期と回復期の適切な病床バランスが求められます。今後南丹地域全体では急性期よりも回復期や在宅医療の需要が増えると予想されており、それを見越して4月から訪問看護が本格稼働しました。まだ告知が十分ではなく、利用者枠にも余裕がありますが、どんどん訪問件数も増えてきております。

当院での治療後の方のみならず、京都市内医療機関での急性期治療後の患者様も受け入れて住み慣れた環境に安心して戻れるよう支援してまいります。

しかしながら、亀岡市内に限ると急性期ベッドも十分では無く、小規模でも出来る急性期医療として肺炎、胃腸炎や骨折などの一般の外科、内科救急や加齢に伴う整形疾患や乳腺、消化管の癌などの一般的な悪性腫瘍手術などは一流のレベルを維持していかねばなりません。無論一部の疾患は市外の大規模病院と連携して治療していかねばなりません、できる事をしっかり行っていく所存ですので、引き続きよろしくお申し上げます。



亀岡市病院事業管理者  
兼亀岡市立病院長事務取扱  
兼地域医療情報センター長 田中宏樹

## 新任医師紹介

### 整形外科



- ①名 前 …………… 中 瀬 雅 司(なかせ まさし)
- ②年 齢 …………… 45歳
- ③出 身 …………… 大阪府 高槻市
- ④得意とする診療内容 …… 整形外科(整形外科一般、小児整形外科)
- ⑤趣味など …………… テレビで阪神タイガースの応援、  
テレビやスタジアムでのサッカー観戦、  
ジョギング、読書など

#### ⑥皆さまへのメッセージ ……………

2023年4月から亀岡市立病院整形外科で勤務しております中瀬雅司と申します。

亀岡市の隣の大阪府高槻市で生まれ育ちました。

京都府立医科大学を卒業後、公立南丹病院で初期研修を受け、京都府立医科大学付属病院、綾部市立病院、市立福知山市民病院で勤務をし、2023年3月まで舞鶴赤十字病院で勤務しておりました。これまでの医師としての知識や技術の多くを口丹、中丹地域の患者様から学ばせていただきました。

大学院時代には、小児整形外科の臨床と成長軟骨板の画像評価についての研究を行っておりました。

こどもの骨には成人とは異なり、成長軟骨板という組織があります。そこで骨が新たに作られ、大きくなっていきます。こどもの骨には自分で治す力、自家矯正力というすごい能力が備わっており、条件さえ良ければある程度の変形した骨も自分で元に戻って行くことができるのです。逆に、成長軟骨板が損傷されてしまうと、それが原因で四肢の変形や長さの差などが生じることもなるという繊細な箇所なのです。

小児整形外科分野では先天性股関節脱臼、先天性内反足、筋性斜頸、脳性麻痺などの治

療を要する疾患から、転びやすい、内また歩行、O脚、X脚などの症状の患者さんも多くおられます。少しでも心配なことがあれば、ご来院ください。

私が医師を志すようになったきっかけは、可愛がってくれた曾祖母が大腿骨骨折を受傷して手術を受け、自宅へ退院後も回復が悪く、自宅で亡くなるということがあったためです。

また、小学生の頃はサッカーが好きでよく足首を捻挫して整形外科を受診し、大学生のときにはサッカー中に膝の半月板断裂を受傷し、半月板縫合術を受けました。大学院生時代には腰椎椎間板ヘルニアになり、腰から下肢の激痛と足首の麻痺まで生じて苦しみました。

さらに最近では両肩の五十肩で日常生活にも不便で悩んでおります。これらの経験から、日常の診療においては、患者さんの状態を自分や家族に置き換えて考え、さらには仕事や日常生活の状況を想像して治療方法を考えていくよう心がけております。

亀岡市立病院職員として地域の皆様のため、精一杯の診療をさせていただきます。よろしくお願いたします。

## 消化器内科

①名 前……………小 山 友 季 (こやま ゆき)

⑥皆さまへのメッセージ ……………

初めまして。

本年度より亀岡市立病院の消化器内科医として勤務しております。

兵庫県神戸市の山と海に囲まれて育ち、高校卒業後は大阪の大学に入学しました。

その後は父の闘病生活を経て再受験をし、2013年に京都府立医科大学を卒業しました。

卒業後は京都第一赤十字病院にて初期研修医、後期研修医、医員として、6年間勤務させて頂きました。

素晴らしい同期や上司、後輩、他科の先生方に恵まれた環境で、3次救急の大変さと面白さを多く学びながら、急性期疾患から悪性疾患、緩和医療まで、消化器内科医としての土台作りをさせて頂きました。

その後は大学院で膵臓専門である吸収研へ配属され、学生実習の頃に出会って教えて頂いてからずっと尊敬してやまない先生方の下で、大好きだった膵臓を学ばせて頂

きました。

大学院では主に超音波内視鏡検査・治療を中心に行わせて頂いておりましたので、亀岡市立病院では私の専門をお役に立てることができないのは非常に残念に思っております。

こちらの病院では主に一般的な上部・下部内視鏡検査をさせて頂いています。

内視鏡検査は定期的を受けて頂きたいものですが、患者さんにとっては、しんどい、辛い、痛い、というイメージが強いです。

丁寧な観察を最短時間で、極力苦痛少なく行う、という点を大事にし、より身近な検査として認識してもらえよう努めて参ります。お役に立てることは少ないかとは思いますが、可能な範囲で市民の皆様、病院スタッフの皆様の役に立てればと思っております。どうぞよろしくお願い致します。



### 当院は京都サンガF.C.を応援しています!

亀岡市は京都サンガF.C.のホームタウンです。  
当院にも応援コーナーを設置し、チームの情報を発信しています。  
職員も試合に合わせてTシャツを着るなど、今シーズンもJ1で戦う京都サンガF.C.に熱いエールを送っています!!







## 職員研修を行っています

亀岡市立病院では、医療の質の向上、安全・安心な医療を提供するために、様々な研修を行っています。

防災訓練は、地震や水害といった自然災害や近年多発する不正アクセスなどのサイバー攻撃に備え、医療を継続する上で欠かすことができない重要な取組みです。

定期的に行うことで防災意識を高め、いつでも対応できるように努めています。



### 災害訓練の研修を行いました。



今年1月に、地震発生時の初動対応が行動できるように災害訓練を行いました。

職員がアクションカードを基に初動活動を行い、被災状況を対策本部まで報告する訓練を行いました。

訓練により、災害時に患者様の生命を守るため、どのような行動をするべきか考えることができました。



### サイバー攻撃対策の研修を行いました。

6月には、サイバー攻撃対策の研修を行いました。

医療機関へのサイバー攻撃の現状と対策についての研修を行い、サイバー攻撃を防ぐために、職員が意識すべき事について知ることができました。

今後も継続して研修を実施し、皆様に安心していただける病院づくりに全力を尽くしてまいります。



## 職員紹介



① 名前

② 年齢

③ 出身



うら の さや か  
浦 野 清 香

#### ⑥メッセージ

私は亀岡市立病院が開院した時に入职し、4年間常勤として勤務した後、出産を機に非常勤となりました。3人の子育てをしながら外来で経験を積みました。特に外来化学療法や、外科外来でのがん看護について、多くのことを学びました。

乳腺外来では女性の乳腺に対する不安や、乳がんが分かった患者さんの治療に寄り添うことにとってもやりがいを感じました。ピンクリボンアドバイザーの中級を取得し、自信を持って患者さんの相談に乗れるようになったと思います。

今年1月から常勤となり、病棟で在宅療養支援について日々スタッフの皆さんのパワーを感じながら自分のできることを模索しています。患者さんやご家族に安心していただけるように頑張ります。よろしくお願いします。



さ さ き  
佐 々 木

かおり  
薫

③出身 亀岡市

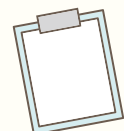
⑤趣味など お酒に合うおいしいご飯の食べ歩きです。

#### ⑥メッセージ

3年前より病棟で勤務させていただいていましたが、現在は外来で主に中央処置室での採血などの処置や、化学療法の担当をさせていただいています。

患者さんが安心して治療が行えるように笑顔で頑張ります。

これからもよろしくお願いします。



## 健康講座ご案内



新型コロナウイルス感染症の影響を受け対面での健康講座を約3年中止し、桔梗にて書面での掲載を継続しておりました。この度、感染症対策は十分に行いながら対面での健康講座を少しずつ再開していく方針となり、次回開催予定をご案内させていただきたいと思っております。

- 開催日 : 2023年12月9日(土)
- 開催時間 : 10:00~11:30 (9:30より受付)
- 場所 : 亀岡市役所 市民ホール
- 参加費 : 無料(申し込み不要)
- 参加人数 : 先着60名
- テーマ : 心臓病について～心不全とうまく付き合っていくために～
- 演者 : 循環器内科医師、薬剤師、管理栄養士、理学療法士

それぞれの専門職より心不全手帳の内容に沿って説明、解説等を行なっていく予定です。今回は講座のみとなっております。個別相談等はご遠慮いただきますようお願いいたします。



感染症拡大防止対策といたしまして、体調不良の方は来場をご遠慮ください。当日はできるだけマスク着用にご協力をお願いいたします。久しぶりの開催となりますので、市民の皆様の参加を心よりお待ちしております。

### ④ 得意とする診療内科 ⑤ 趣味 ⑥ メッセージ



たけ うち ま ゆ  
竹 内 麻 友

- ②年齢 25歳
- ③出身 京都府
- ④得意とする診療内容 看護についてはまだまだ勉強中です
- ⑤趣味など 2.5次元舞台・ミュージカル鑑賞 ディズニー

⑥メッセージ 一昨年から非常勤看護師として勤務し、今年度からは常勤看護師として勤務しています。患者さんに寄り添った看護を頑張りつつ、趣味の舞台鑑賞、推し活もしながら日々楽しく過ごしています。看護師としてさらに成長できるよう頑張りますのでよろしくお願い致します。



いし だ ち あき  
石 田 千 晶

- ②年齢 46歳
- ③出身 亀岡市
- ④得意とする診療内容 在宅療養支援や心不全、認知症について勉強中です。
- ⑤趣味など 愛犬の散歩・音楽鑑賞

⑥メッセージ 3月までデイサービスで勤務し、今回12年ぶり病院勤務をしています。新しく学ぶことが多くあり、日々やりがいを感じています。患者さんやご家族に安心してもらえ、また皆さんに信頼していただけるような看護師を目指し、努めてまいりますので、今後ともよろしくお願い致します。



## 糖尿病と病気の関係



糖尿病に罹患すると、三大疾病（腎症・網膜症・神経症）を引き起こすことはよく知られています。それ以外にも様々な病気をとの関係が知られています。

今回はがん、肝疾患、骨粗鬆症についてお話しします。

がんは皆様の健康状態を大きく損なう疾患として見逃せないものです。大腸がんでは食生活、肺がんでは喫煙習慣と生活習慣とも密接な関わりがあります。

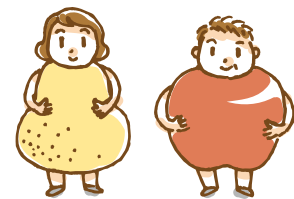
糖尿病では大腸がん、肝臓がん、膵臓がんにかかりやすくなることが知られています。また、体重が多めの女性患者さんでは乳がんになりやすくなる可能性もあります。

当院でもがんで入院される患者さんが、糖尿病の治療中であつたり、糖尿病が発見されるケースがよく見られます。糖尿病とがんのどちらを先に罹患されたかは不明ですが、糖尿病とがんは密接な関係があることを日々感じさせられます。

次に肝疾患ですが、皆様の中には血液検査で肝障害が指摘された方もいらっしゃると思います。

肝臓病というとお酒のみの病気、と思われがちですが、今はお酒（アルコール類）を飲まなくてもメタボリックシンドローム（メタボ）があると肝炎になる、メタボ肝炎（非アルコール性脂肪肝炎）への注意が喚起されています。

メタボ肝炎・脂肪肝は糖尿病と密接な関連がありますので、症状・病状に合わせて腹部超音波検査をお勧めする場合があります。



また、骨粗鬆症では糖尿病があるとそうでない場合より約2倍骨折しやすいといわれています。骨折の要因となる骨強度は骨量と骨質の2つの要因から構成されており、一般的には骨量が低下すると骨粗鬆症となり、骨折しやすくなります。糖尿病では骨量の減少よりも、骨質の劣化が重要と考えられています。骨質にはコラーゲンが重要と考えられており、高血糖が続くとコラーゲンが劣化するため、骨質が劣化し、骨がしなやかさを失うと考えられています。このため、糖尿病では血糖コントロールをよくすることで骨質を保つことが大切です。

他にも心疾患など、症状がないからと自己判断せず、市民検診など健康診断や診察を受け、指摘を受けた場合は、定期的に検査結果から体調管理をすることが大切になってきます。



当院では、地域の医療機関と連携して、地域に求められる救急医療・高度医療に取り組み、地域医療の向上に貢献することを病院の基本理念として、患者様中心の医療を展開しています。

そこで、本院と関係の深い、地域の連携医療機関を順次紹介させていただきます。

## 地域連携医のご紹介

### みぎわクリニック

院長：高 浜 聖 二

住 所：〒621-0804  
亀岡市追分町大堀32番5

T E L：0771-29-1029

F A X：0771-29-1022

診察科目：心療内科・精神科

診療時間：午前 10:00～12:00（月・火・木・金）  
午後 16:00～17:30（月・木）

往診・訪問診察 13:00～16:00（月・木）

休診／火曜日午後・水曜日・金曜日午後・土曜日午後  
土曜日は隔週（第2・第4）の診療となります

受付時間／午前診察11:45迄 午後診察17:15迄



#### 医院より一言

これまで南丹市で精神科診療に携わってきたご縁で、2021年2月より亀岡駅前にて開院しました。

人生にはさまざまなステージがあり、その節目には誰しも大なり小なりストレスを抱えるものです。

さらに近年はSNSの普及など社会の変化により、心の不調もより複雑化しています。

当院は、思春期からご高齢の方まで幅広い年代の心の不調のニーズにお応えすべく、医師を中心に、精神科医療の経験豊富な看護師と連携しつつ、外来診療、訪問診療を実施しております。

昨今ご相談の多い発達障害やもの忘れについては、公認心理師による心理検査、発達に関する検査、認知機能検査を実施しています。

また、オンライン診療も導入し、多忙で通院時間を取りにくい再診の患者様にはオンライン診療の対応もしています。本人の受診が困難なご家族向けに、医師による家族相談も実施しております。今後も地域医療に微力ながら貢献したいと考えております。よろしく申し上げます。



### 編集後記

今年は異常な猛暑を記録し、とても長く感じる夏でした。社会生活はコロナ前に戻りつつありますが、療養されている方にとって、感染の脅威は依然として続いています。

病院は変わらず感染防止対策を講じながらの診療・ケアを継続しており、来院の方へのマスク着用、面会制限等ご協力をお願いしています。広報誌「桔梗」では今後も厳しい環境の中でも楽しい日常生活を継続できるような情報を掲載していきたいと思えます。

皆さま、お体には十分にお気をつけいただき、爽やかな秋の季節をお過ごしください。

広報委員会事務局 村上 恵子(看護師)

市立病院公式Facebookはこちらから！  
(ぜひページ・記事への「いいね！」をよろしくお願いします！)



# 外来担当医表 (令和5年10月)

診療科	月	火	水	木	金
消化器内科	うえ はら ゆきこ 上原 有紀子	しお の たか お 城野 孝夫	上原 有紀子	—	こ やま ゆき 小山 友季
循環器内科	まつ き 松木 あゆみ	松木 あゆみ	—	松木 あゆみ	まつ お りょう へい 松尾 龍平
循環器内科 午後(予約)	—	松木 あゆみ	—	ふく い けん すけ 福居 顕介	—
一般内科	けい ら なつ や 計良 夏哉 (第1・3・5週) き むら たい こう 木村 兌弘 (第2・4週)	き むら ふみ こ 木村 史子 し むら ゆう じ 志村 勇司 (予約のみ)	松尾 龍平	まつ もと よう すけ 松本 洋典	木村 史子
神経内科	—	—	—	—	ふじ の ゆう ぞう 藤野 雄三
糖尿病内科 (予約)	—	やま もと しん た 山本 慎大	きた がわ のり ゆき 北川 功幸	北川 功幸	はま ぐち まさ ひで 濱口 真英
ペースメーカー 外来	—	—	—	—	松木 あゆみ (偶数月の第3週)
皮膚科	—	—	なか にし ま り 中西 麻理	—	た うら まい こ 田浦 麻衣子 (9:30診察開始)
泌尿器科	—	担当医	—	担当医	—
外科1診	い むら けんいちろう 井村 健一郎	た なか ひろ き 田中 宏樹	田中 宏樹	よし い かず ひろ 吉井 一博	井村 健一郎
外科2診	くま た さきこ 熊田 早紀子 (乳腺)	わた なべ あさら 渡邊 陽 (乳腺)	—	—	—
外科 午後(予約)	熊田 早紀子 (乳腺) 井村 健一郎 (肛門外来)	—	田中 宏樹 (乳腺)	—	—
麻酔科 (ハ <sup>+</sup> インクニック)	はし もと とも こ 橋本 朋子	—	—	—	橋本 朋子
眼科	みや たに たか ふみ 宮谷 崇史	担当医	—	宮谷 崇史	—
整形外科 1診	く ぼ やす おみ 久保 恭臣	玉井 和夫 (予約)	なか せ まさ し 中瀬 雅司	久保 恭臣	中瀬 雅司
整形外科 2診	かま だ よういちろう 鎌田 陽一郎	鎌田 陽一郎	鎌田 陽一郎	—	—
整形外科 3診	たま い かず お 玉井 和夫	なり た わたる 成田 渉	—	—	—
小児科	てら まち しん じ 寺町 紳二	寺町 紳二	寺町 紳二	寺町 紳二	寺町 紳二
小児科 午後(予約)	寺町 紳二 (循環器)	寺町 紳二 (予防接種)	寺町 紳二 (予約外来)	寺町 紳二 (循環器・アレルギー)	寺町 紳二 (予約外来)

亀岡市立病院は、在宅で療養されている高齢者等を支援する京都府の在宅療養あんしん病院に登録しています。

## 亀岡市立病院

〒621-8585 京都府亀岡市篠町篠野田1-1  
TEL 0771-25-7313 FAX 0771-25-7312  
<https://www.city.kameoka.kyoto.jp/site/hospital/>

JR馬堀駅から徒歩約5分/  
京都縦貫道篠インターから車で約5分/  
駐車(輪)場有

